

種目【国語】(1/2)

調査の方法	2 東書	15 三省堂																																																
1-(1) ・言語に関する内容や程度、分量はどのようであるか。	<p>■「言葉の特徴や使い方に関する事項」の取扱い</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査項目</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年から3年までの漢字</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>1年生 音声の働き</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2年生 敬語</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>3年生 慣用句・ことわざ・故事成語</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「漢字道場」</p>	調査項目	ページ数	1年から3年までの漢字	28	1年生 音声の働き	1	2年生 敬語	3	3年生 慣用句・ことわざ・故事成語	2	<p>■「言葉の特徴や使い方に関する事項」の取扱い</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査項目</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年から3年までの漢字</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>1年生 音声の働き</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>2年生 敬語</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>3年生 慣用句・ことわざ・故事成語</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「漢字の仕組み」「漢字を身につけよう」</p>	調査項目	ページ数	1年から3年までの漢字	35	1年生 音声の働き	6	2年生 敬語	3	3年生 慣用句・ことわざ・故事成語	5																												
調査項目	ページ数																																																	
1年から3年までの漢字	28																																																	
1年生 音声の働き	1																																																	
2年生 敬語	3																																																	
3年生 慣用句・ことわざ・故事成語	2																																																	
調査項目	ページ数																																																	
1年から3年までの漢字	35																																																	
1年生 音声の働き	6																																																	
2年生 敬語	3																																																	
3年生 慣用句・ことわざ・故事成語	5																																																	
1-(2) ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域において、どのような学習内容や言語活動が取り上げられ、程度や分量はどのようであるか。	<p>■読むこと領域の教材割合（読書教材・詩・短歌等は除く）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文学的文章</td> <td>33%</td> <td>33%</td> <td>36%</td> <td>34%</td> </tr> <tr> <td>説明的文章</td> <td>33%</td> <td>42%</td> <td>36%</td> <td>37%</td> </tr> <tr> <td>古典</td> <td>33%</td> <td>27%</td> <td>27%</td> <td>29%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■各教材の学習展開の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教材で「目標」「問いかけ」→「言葉の力」→「振り返り」という統一した流れで構成されている。 「読む」で学んだことを、その次の「書く」や「話す・聞く」で生かすことができるように配列されている。 <p>■3年教材「故郷」の取扱いについての比較</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習目標2点 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○登場人物の思いについて考えながら、作品を読み深める。</p> <p>○作品を読んで考えを深め、社会の中で生きる人間について、自分の意見を持つ。</p> </div> <p>※考えを深めるための言語活動例</p> <ul style="list-style-type: none"> 「思うに希望とは…道になるのだ」について考えたことを話し合ってみよう。 	学年	1年	2年	3年	全体	文学的文章	33%	33%	36%	34%	説明的文章	33%	42%	36%	37%	古典	33%	27%	27%	29%	<p>■読むこと領域の教材割合（読書教材・詩・短歌等は除く）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文学的文章</td> <td>36%</td> <td>25%</td> <td>25%</td> <td>29%</td> </tr> <tr> <td>説明的文章</td> <td>29%</td> <td>42%</td> <td>42%</td> <td>37%</td> </tr> <tr> <td>古典</td> <td>36%</td> <td>33%</td> <td>33%</td> <td>34%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■各教材の学習展開の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年のはじめには、基本となる「読み方」に焦点化して学習する「プレ教材」を設定している。 考えの異なりを対話によって理解し合い、より仲間と合意を生み出すことができるような学習の流れとなっている。 <p>■3年教材「故郷」の取扱いについての比較</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習目標2点 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○登場人物の言動や関係を捉え、作品に現れているものの見方や考え方について、自分の考えをつくる。</p> <p>○人物の心情と描写との関連や人物設定など、表現の特徴や工夫を捉え、評価する。</p> </div> <p>※考えを深めるための言語活動例</p> <ul style="list-style-type: none"> この作品の表現の特徴やその効果について、話し合おう。 作品を読んで考えたことを文章にまとめて交流しよう。 	学年	1年	2年	3年	全体	文学的文章	36%	25%	25%	29%	説明的文章	29%	42%	42%	37%	古典	36%	33%	33%	34%								
学年	1年	2年	3年	全体																																														
文学的文章	33%	33%	36%	34%																																														
説明的文章	33%	42%	36%	37%																																														
古典	33%	27%	27%	29%																																														
学年	1年	2年	3年	全体																																														
文学的文章	36%	25%	25%	29%																																														
説明的文章	29%	42%	42%	37%																																														
古典	36%	33%	33%	34%																																														
2-(1) ・どのような教材が取り上げられ、どのような学び方を取り上げているか。	<p>■国語の学び方</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習目標の提示 学習の手引きの掲載 「てびき（「言葉の力」「広がる言葉）」 「学びの扉」（漫画） 「学びを支える言葉の力」（巻末） 	<p>■国語の学び方</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習目標の提示 学習の手引きの掲載 「学びの道しるべ（語彙を豊かに）」 「読み方を学ぼう」 																																																
2-(2) ・家庭において自ら学習に取り組む上で、テキストを一人で読み進めるための視点や観点が位置付けているか。	<p>■学習活動を進める視点等</p> <p>第1学年3学期 文学的文章「少年の日の思い出」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>脚注数</th> <th>読み進めるための課題</th> <th>振り返り観点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個数</td> <td>13</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>第2学年2学期 文学的文章「走れメロス」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>脚注数</th> <th>読み進めるための課題</th> <th>振り返り観点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個数</td> <td>26</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>第3学年2学期 文学的文章「故郷」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>脚注数</th> <th>読み進めるための課題</th> <th>振り返り観点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個数</td> <td>19</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	項目	脚注数	読み進めるための課題	振り返り観点	個数	13	4	2	項目	脚注数	読み進めるための課題	振り返り観点	個数	26	5	2	項目	脚注数	読み進めるための課題	振り返り観点	個数	19	4	2	<p>■学習活動を進める視点等</p> <p>第1学年3学期 文学的文章「少年の日の思い出」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>脚注数</th> <th>読み進めるための課題</th> <th>振り返り観点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個数</td> <td>15</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>第2学年3学期 文学的文章「走れメロス」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>脚注数</th> <th>読み進めるための課題</th> <th>振り返り観点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個数</td> <td>28</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>第3学年2学期 文学的文章「故郷」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>脚注数</th> <th>読み進めるための課題</th> <th>振り返り観点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個数</td> <td>20</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	項目	脚注数	読み進めるための課題	振り返り観点	個数	15	4	1	項目	脚注数	読み進めるための課題	振り返り観点	個数	28	4	1	項目	脚注数	読み進めるための課題	振り返り観点	個数	20	4	1
項目	脚注数	読み進めるための課題	振り返り観点																																															
個数	13	4	2																																															
項目	脚注数	読み進めるための課題	振り返り観点																																															
個数	26	5	2																																															
項目	脚注数	読み進めるための課題	振り返り観点																																															
個数	19	4	2																																															
項目	脚注数	読み進めるための課題	振り返り観点																																															
個数	15	4	1																																															
項目	脚注数	読み進めるための課題	振り返り観点																																															
個数	28	4	1																																															
項目	脚注数	読み進めるための課題	振り返り観点																																															
個数	20	4	1																																															
3 ・「他教科等における読書の指導や学校図書館における指導との関連」はどのように扱われているか。	<p>■学校図書館の活用に関する内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書館</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>1年生：情報の調べ方「図書館へ行く」 分類番号等</p>	学年	1年	2年	3年	図書館	○	—	—	<p>■学校図書館の活用に関する内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書館</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>1年～3年まで同一の資料 情報の探し方「図書館で探す」NDC</p>	学年	1年	2年	3年	図書館	○	○	○																																
学年	1年	2年	3年																																															
図書館	○	—	—																																															
学年	1年	2年	3年																																															
図書館	○	○	○																																															
4-(1) ・教科書の総ページ数、重量はどのようであるか。	<p>■ページ数・重さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数</td> <td>342</td> <td>346</td> <td>354</td> <td>347.3</td> </tr> <tr> <td>重さ</td> <td>585</td> <td>592</td> <td>602</td> <td>593</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	平均	総ページ数	342	346	354	347.3	重さ	585	592	602	593	<p>■ページ数・重さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数</td> <td>357</td> <td>357</td> <td>341</td> <td>351.6</td> </tr> <tr> <td>重さ</td> <td>569</td> <td>567</td> <td>542</td> <td>559.3</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	平均	総ページ数	357	357	341	351.6	重さ	569	567	542	559.3																		
学年	1年	2年	3年	平均																																														
総ページ数	342	346	354	347.3																																														
重さ	585	592	602	593																																														
学年	1年	2年	3年	平均																																														
総ページ数	357	357	341	351.6																																														
重さ	569	567	542	559.3																																														
4-(3) ・目次、索引、注、凡例、巻末資料等は、どのような特徴があるか。	<p>■巻末資料 「基礎編」「資料編」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ページ数</td> <td>113</td> <td>113</td> <td>117</td> <td>114</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 論理的な言葉の力・文学的な言葉の力・対話的な言葉の力・文法解説 本編の作品と読み比べられる小説、説明文・古典の解説文 語彙、漢字資料等 	学年	1年	2年	3年	全体	ページ数	113	113	117	114	<p>■巻末資料 「資料編」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ページ数</td> <td>79</td> <td>77</td> <td>81</td> <td>79</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 情報を活用する・古典芸能に親しむ・社会生活に生かす 日本文学名作集（奈良時代から現代にいたるまで、各時代の代表的な作品やその冒頭の紹介・学習用語辞典等 	学年	1年	2年	3年	全体	ページ数	79	77	81	79																												
学年	1年	2年	3年	全体																																														
ページ数	113	113	117	114																																														
学年	1年	2年	3年	全体																																														
ページ数	79	77	81	79																																														

種目【国語】(2/2)

調査の方法	17 教出	38 光村																																																
1-(1) ・言語に関する内容や程度、分量はどのようであるか。	<p>■「言葉の特徴や使い方に関する事項」の取扱い</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査項目</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年から3年までの漢字</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>1年生 音声の働き</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>2年生 敬語</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>3年生 慣用句・ことわざ・故事成語</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※漢字は「漢字の広場」をカウント</p>	調査項目	ページ数	1年から3年までの漢字	24	1年生 音声の働き	5	2年生 敬語	4	3年生 慣用句・ことわざ・故事成語	4	<p>■「言葉の特徴や使い方に関する事項」の取扱い</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査項目</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年から3年までの漢字</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>1年生 音声の働き</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>2年生 敬語</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>3年生 慣用句・ことわざ・故事成語</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※漢字は「漢字1～3」「漢字に親しもう」をカウント</p>	調査項目	ページ数	1年から3年までの漢字	37	1年生 音声の働き	2	2年生 敬語	3	3年生 慣用句・ことわざ・故事成語	4																												
調査項目	ページ数																																																	
1年から3年までの漢字	24																																																	
1年生 音声の働き	5																																																	
2年生 敬語	4																																																	
3年生 慣用句・ことわざ・故事成語	4																																																	
調査項目	ページ数																																																	
1年から3年までの漢字	37																																																	
1年生 音声の働き	2																																																	
2年生 敬語	3																																																	
3年生 慣用句・ことわざ・故事成語	4																																																	
1-(2) ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域において、どのような学習内容や言語活動が取り上げられ、程度や分量はどのようであるか。	<p>■読むこと領域の教材割合（読書教材・詩・短歌等は除く）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文学的文章</td> <td>30%</td> <td>27%</td> <td>42%</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>説明的文章</td> <td>40%</td> <td>45%</td> <td>33%</td> <td>39%</td> </tr> <tr> <td>古典</td> <td>30%</td> <td>27%</td> <td>25%</td> <td>27%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■各教材の学習展開の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習が、相互に関連しながら構成されている。 ・教材の学習に入る前に、内容をより深く読んだり学習内容を認識したりするための手立てとして「学びナビ」を設定している。 <p>■3年教材「故郷」の取扱いについての比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習目標3点 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○理解や表現のために必要な語句の量を増やし、話や文章のなかで意識的に使用する。 ○一人称の語り方について理解し、作品の表現の仕方を評価する。 ○「希望」について考え、人間、社会などについて自分の意見をもつ。 </div> <p>※考えを深めるための言語活動例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「楊おばさん」と「閩土」の現在の二人のことを「私」はどのように捉えているだろうか。意見を交流しよう。 	学年	1年	2年	3年	全体	文学的文章	30%	27%	42%	33%	説明的文章	40%	45%	33%	39%	古典	30%	27%	25%	27%	<p>■読むこと領域の教材割合（読書教材・詩・短歌等は除く）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文学的文章</td> <td>42%</td> <td>38%</td> <td>30%</td> <td>37%</td> </tr> <tr> <td>説明的文章</td> <td>42%</td> <td>31%</td> <td>40%</td> <td>37%</td> </tr> <tr> <td>古典</td> <td>17%</td> <td>31%</td> <td>30%</td> <td>26%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■各教材の学習展開の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知識及び技能」に示された指導事項を確実に押さえ、その力を活用して各領域の言語活動を行うことで、「思考力、判断力、表現力等」を無理なく高めていける構成になっている。 <p>■3年教材「故郷」の取扱いについての比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習目標2点 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○人の生き方や社会との関わり方を考えるうえでの、<u>読書の意義を理解する。</u> ○小説を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。 </div> <p>※考えを深めるための言語活動例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後の場面で「私」が抱く「希望」や、望む社会とはどのようなものか。「私」と「レントウ」、「ホンル」と「シュエーション」の関係などを踏まえて捉えよう。また、「私」の考え方について自分はどう考えるか、話し合おう。 	学年	1年	2年	3年	全体	文学的文章	42%	38%	30%	37%	説明的文章	42%	31%	40%	37%	古典	17%	31%	30%	26%								
学年	1年	2年	3年	全体																																														
文学的文章	30%	27%	42%	33%																																														
説明的文章	40%	45%	33%	39%																																														
古典	30%	27%	25%	27%																																														
学年	1年	2年	3年	全体																																														
文学的文章	42%	38%	30%	37%																																														
説明的文章	42%	31%	40%	37%																																														
古典	17%	31%	30%	26%																																														
2-(1) ・どのような教材が取り上げられ、どのような学び方を取り上げているか。	<p>■国語の学び方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習目標の提示 ・学習の手引きの掲載 「学びナビ」「みちしるべ」 「ここが大事」「この教材で学ぶ言葉」 	<p>■国語の学び方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習目標の提示 ・学習の手引きの掲載 「学習」「思考のレッスン」 「広がる読書」「言葉を広げる」「学習の窓」 																																																
2-(2) ・家庭において自ら学習に取り組む上で、テキストを一人で読み進めるための視点や観点が位置付いているか。	<p>■学習活動を進める視点等</p> <p>第1学年3学期 文学的文章「少年の日の思い出」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>脚注数</th> <th>読み進めるための視点</th> <th>振り返り観点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個数</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>第2学年3学期 文学的文章「走れメロス」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>脚注数</th> <th>読み進めるための視点</th> <th>振り返り観点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個数</td> <td>19</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>第3学年2学期 文学的文章「故郷」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>脚注数</th> <th>読み進めるための視点</th> <th>振り返り観点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個数</td> <td>16</td> <td>8</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	項目	脚注数	読み進めるための視点	振り返り観点	個数	10	6	3	項目	脚注数	読み進めるための視点	振り返り観点	個数	19	5	3	項目	脚注数	読み進めるための視点	振り返り観点	個数	16	8	3	<p>■学習活動を進める視点等</p> <p>第1学年3学期 文学的文章「少年の日の思い出」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>脚注数</th> <th>読み進めるための視点</th> <th>振り返り観点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個数</td> <td>12</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>第2学年2学期 文学的文章「走れメロス」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>脚注数</th> <th>読み進めるための視点</th> <th>振り返り観点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個数</td> <td>29</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>第3学年2学期 文学的文章「故郷」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>脚注数</th> <th>読み進めるための視点</th> <th>振り返り観点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個数</td> <td>16</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	項目	脚注数	読み進めるための視点	振り返り観点	個数	12	5	2	項目	脚注数	読み進めるための視点	振り返り観点	個数	29	5	2	項目	脚注数	読み進めるための視点	振り返り観点	個数	16	5	2
項目	脚注数	読み進めるための視点	振り返り観点																																															
個数	10	6	3																																															
項目	脚注数	読み進めるための視点	振り返り観点																																															
個数	19	5	3																																															
項目	脚注数	読み進めるための視点	振り返り観点																																															
個数	16	8	3																																															
項目	脚注数	読み進めるための視点	振り返り観点																																															
個数	12	5	2																																															
項目	脚注数	読み進めるための視点	振り返り観点																																															
個数	29	5	2																																															
項目	脚注数	読み進めるための視点	振り返り観点																																															
個数	16	5	2																																															
3 ・「他教科等における読書の指導や学校図書館における指導との関連」はどのように扱われているか。	<p>■学校図書館の活用に関する内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書館</td> <td>△</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>1年生：「図書館で調べ方について考える」設問として掲載 2年生：「みちしるべ」図書館を活用しよう</p>	学年	1年	2年	3年	図書館	△	○	—	<p>■学校図書館の活用に関する内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書館</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>1年生：情報を集めよう「図書館の活用」</p>	学年	1年	2年	3年	図書館	○	—	—																																
学年	1年	2年	3年																																															
図書館	△	○	—																																															
学年	1年	2年	3年																																															
図書館	○	—	—																																															
4-(1) ・教科書の総ページ数、重量はどのようであるか。	<p>■ページ数・重さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数</td> <td>354</td> <td>366</td> <td>354</td> <td>358</td> </tr> <tr> <td>重さ</td> <td>580</td> <td>601</td> <td>580</td> <td>587</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	平均	総ページ数	354	366	354	358	重さ	580	601	580	587	<p>■ページ数・重さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数</td> <td>340</td> <td>336</td> <td>324</td> <td>333.3</td> </tr> <tr> <td>重さ</td> <td>575</td> <td>568</td> <td>549</td> <td>564</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	平均	総ページ数	340	336	324	333.3	重さ	575	568	549	564																		
学年	1年	2年	3年	平均																																														
総ページ数	354	366	354	358																																														
重さ	580	601	580	587																																														
学年	1年	2年	3年	平均																																														
総ページ数	340	336	324	333.3																																														
重さ	575	568	549	564																																														
4-(3) ・目次、索引、注、凡例、巻末資料等は、どのような特徴があるか。	<p>■巻末資料</p> <p>「言葉と文法解説編」「言葉の自習室」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ページ数</td> <td>91</td> <td>87</td> <td>81</td> <td>86</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉（解説）「和語・漢語・外来語」「相手に対する配慮と表現」「慣用句・ことわざ」・文法（解説） ・古典文学の名作、伝統芸能へのいざない、模擬面接をしてみよう等 	学年	1年	2年	3年	全体	ページ数	91	87	81	86	<p>■巻末資料</p> <p>「学習を広げる」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ページ数</td> <td>73</td> <td>73</td> <td>89</td> <td>78</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の窓、思考のレッスン、情報処理のレッスン ・古典芸能の世界、古典・近代文学の名作 ・学習のための用語一覧等 	学年	1年	2年	3年	全体	ページ数	73	73	89	78																												
学年	1年	2年	3年	全体																																														
ページ数	91	87	81	86																																														
学年	1年	2年	3年	全体																																														
ページ数	73	73	89	78																																														